

播磨町

地震・津波
ハザードマップ

掲載の津波浸水想定区域は、兵庫県が平成26年2月に公表した南海トラフ巨大地震津波浸水想定図を基に掲載しております。

播磨町における津波の高さ: 最大 2.2m

播磨町に津波が到達する時間: 110分

(津波の高さが1mに達するまでの時間)

津波避難対象地域等

津波浸水想定区域

津波避難対象地域

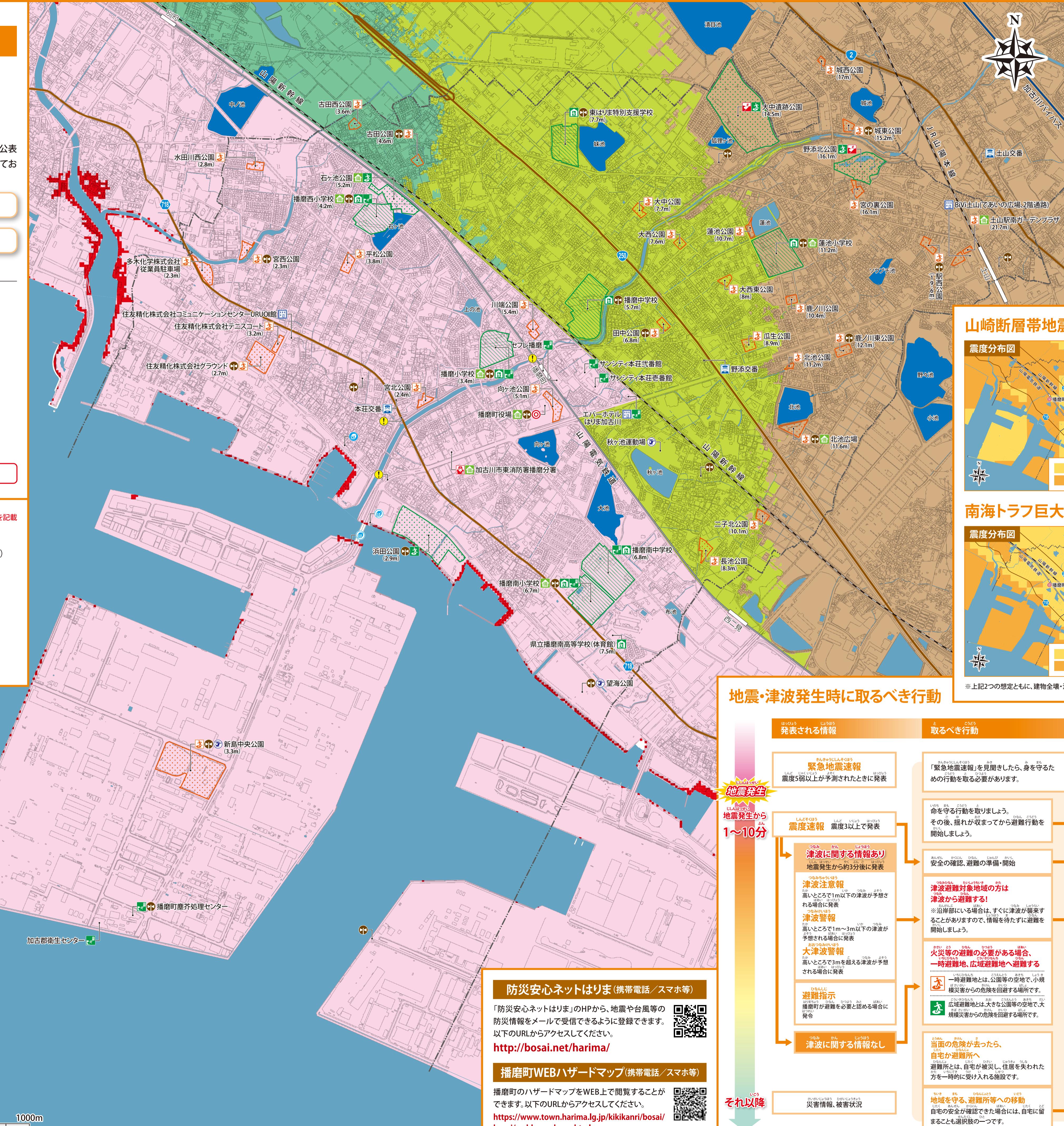
海拔

10m以上

5~10m未満

5m未満

海拔の色分けは、津波避難対象地域外のみ表示しています。



避難所等一覧

広域避難地 / 津波避難目標地点

津波の発生が予想されるときには、津波避難目標地点を目指して避難してください。

名 称	広域避難地	津波避難目標地点
浜田公園(自由広場)	○	—
大中遺跡公園	○	○
野添北公園	○	○
石ヶ池公園	○	—

避難所

被災された方の受け入れが必要になった場合、避難所を開設します。

名 称	使用区分
播磨小学校	地震 / 津波
蓮池小学校	○ ○
播磨西小学校	○ —
播磨南小学校	○ ○
播磨中学校	○ ○
播磨南中学校	○ ○
県立東はりま特別支援学校	○ ○
県立播磨南高等学校(体育館)	○ —

津波避難ビル

逃げ遅れた際の緊急的な避難先として活用できます。風水害時にも避難途中に危険を感じた際の緊急的な避難先として活用できます。

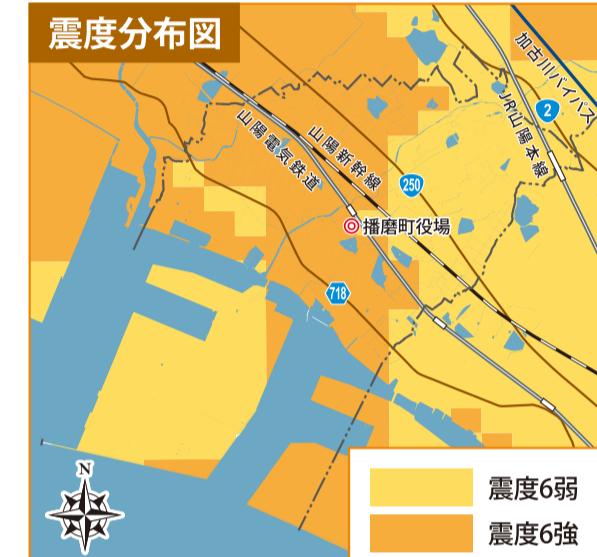
名 称	津波	使用可能階数
播磨小学校	○	校舎3階以上
播磨西小学校	○	校舎3階以上
播磨南小学校	○	校舎3階以上
播磨中学校	○	校舎3階以上
セフレ播磨	○	3階以上
サンシティ本荘番館	○	3階以上
サンシティ本荘番館	○	3階以上
エバーホテルはりま加古川	○	3階以上
播磨町彦芥処理センター ^①	○	3階以上
加古郡衛生センター ^②	○	3階以上

※1:利用可能時間は、12月29日から翌年1月3日、土日祝日を除く、午前7時30分から午後8時までの間です。

※2:利用可能時間は、12月29日から翌年1月3日を除く、午前8時30分から午後5時までの間です。

山崎断層地震

出典:兵庫県 地震被害想定(内陸型活断層) 平成21~22年



山崎断層地震が発生すると、播磨町では最大震度6強、建物全壊・焼失908棟(建物の約14棟の割合)、建物倒壊、火災等による死者58人(住民約600人に1人の割合)の被害が予想されます。

危険度が極めて高い(15 < PL)
危険度が高め(5 < PL < 15)
危険度が低い(0 < PL < 5)
危険度がかなり低い(PL = 0)

南海トラフ巨大地震

出典:兵庫県 南海トラフ巨大地震津波被害想定 平成26年



南海トラフ巨大地震が発生すると、播磨町では最大震度6強、建物全壊・焼失354棟(建物の約36棟の割合)、建物倒壊、火災等による死者21人(住民約1,650人に1人の割合)の被害が予想されます。

危険度が極めて高い(15 < PL)
危険度が高め(5 < PL < 15)
危険度が低い(0 < PL < 5)
危険度がかなり低い(PL = 0)

地震・津波発生時に取るべき行動

発表される情報

緊急地震速報

震度5弱以上が予測されたときに発表

震度速報

震度3以上で発表

津波に関する情報あり

地震発生から約3分後に発表

津波注意報

高いところで1m以下の津波が予想される場合に発表

津波警報

高いところで1m~3m以下の津波が予想される場合に発表

大津警報

高いところで3mを超える津波が予想される場合に発表

避難指示

播磨町が避難を必要と認める場合に発令

津波に関する情報なし

当面の危険が去ったら、自宅が避難所へ

避難所は、自宅が被災し、住居を失われた方を一時的に受け入れる施設です。

地域を守る、避難所への移動

自宅の安全が確認できた場合には、自宅に留まることも選択肢の一つです。

取るべき行動

緊急地震速報

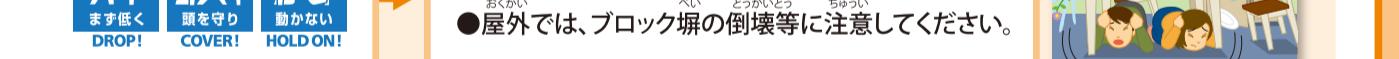
「緊急地震速報」を見聞きしたら、身を守るために行動を取る必要があります。



震度速報

命を守るために行動を取りましょう。

その後、揺れが収まってから避難行動を開始しましょう。



安全の確認、避難の準備・開始

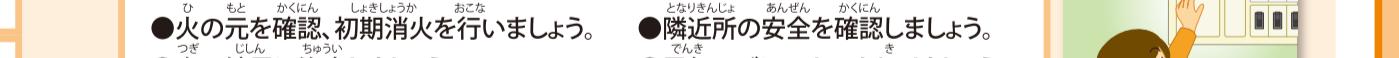
命を守るために行動を取りましょう。

その後、揺れが収まってから避難行動を開始しましょう。



津波から避難する

沿岸部にいる場合は、すぐに津波が襲来することがありますので、情報を待たずして避難を開始しましょう。



火災等の避難の必要な場合、一時避難地、広域避難地へ避難する

一時避難地とは、公園等の空地で、小規模災害からの危険を回避する場所です。



広域避難地とは、大きな公園等の空地で、大規模災害からの危険を回避する場所です。

広域避難地とは、大きな公園等の空地で、大規模災害からの危険を回避する場所です。

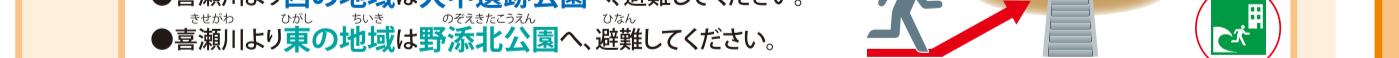


津波からは、より遠くより高く避難する

1 津波避難目標地點へ避難する

●喜瀬より西の地域は大中遺跡公園へ、避難してください。

●喜瀬より東の地域は野添北公園へ、避難してください。



逃げ遅いたら、緊急的に津波避難ビルへ

津波避難ビルとは、町と協定を結んだ高層階に有するビル等、緊急のかつて一時的に津波、高潮、洪水から避難する施設です。



避難所等へ移動

●壊れた家には入らないようにしましょう。

●地域で協力して、消火、救出活動を行いましょう。

●避難所では、集団生活のルールを守り、助け合いましょう。

